



はじめまして、聖陵学院城山校で校長を務めさせて
いただいております中村祐介です。塾講師としては16
年間、子どもたちの指導をしてきました。

血液型はA型、松阪牛で有名な、三重県松阪市出身、
大学受験を大失敗して浪人することになった18歳か
ら地元を離れて、今年で21年になります。ちなみに、
松阪はまつざかではなく、まつさか
です！！！！地元民は『まつあか』といいます。お間
違いのないようよろしくお願いいたします（笑）

今まで、大阪で浪人、京都で大学、奈良で大学院、和
歌山で塾講師と紀伊半島を一周してきたため、松阪弁
をベースにした、大阪弁、京都弁、奈良弁、和歌山弁

がごちゃ混ぜになった、『いんちき関西弁』を話します。（笑）。

人から言わせると『感覚が独特』『個性的』とよく言われます。確かに、人がしないような
ことをいろいろと試したり、新しいことにチャレンジしたりすることは好きです。また、小
さいころからキャンプ、アウトドア、国内外問わず旅行も大好きです。海外は12か国、特
に、大学で研究対象だった台湾には、研究旅行で3回ほど行きました。その中でも最も思い
出深いのが、台湾のとある田舎の村に行った時の話です。

この時の目的は、村の小学校で使われている教材をいただきに行くことでした。小学校に事
前に連絡する手段の見当がつかなかったので、アポなしで飛び込みです。

目的の村の最寄り駅に降りた瞬間に、改札付近で鶏があばれてました。駅員に聞いてみる
と、なんと野良の鶏！私は野良の鶏を始めてみました！これはえらいとこに来たと思ったの
ですがここから運が向いてきます。村までの移動手段は15キロほど徒歩（！）の予定だっ
たのですが、偶然、近くの個人商店で出会ったご夫婦と仲良くなり、トラックの荷台に乗せ
てもらって送ってもらいました。荷物のように運送されて無事小学校につき、校長先生に取り
次いでもらって、目的のものを無料でGET！アポなしだったにもかかわらず、日本人が来
たという事で歓迎会を開いてもらって、カラオケをしたり、カタツムリ（！）の炒め物をい
ただいて、津軽海峡冬景色やテレサ・テンの歌をみんなで熱唱しました。台湾は、おじいさ
ん、おばあさんくらいの世代の方は日本語がペラペラです。帰りはその食堂のお姉さんに、
駅まで車で送ってもらいました。まさにミラクル。運がいいとしか言いようがありません。
さらにこの話には続きがあって、3回目台湾に行った時、私が行った村とは別の村で、同じ
ように村の人に誘われて、村に行ったら睡眠薬を飲まされて身ぐるみはがされて帰ってきた
というニュースがテレビで流れていました……。ほら、運がいいでしょう？（笑）

そんな私は、今、聖陵学院城山校で校長をしています。毎日、子どもたちの事を考え、どう
やったらその子が勉強できるようになるのかを考えています。一人一人に合わせた声のかけ
方、その子に合わせた指導の方法をいつも考え、指導しています。楽しく、わかりやすく、
学力がつく、ためになる授業で生徒の皆さんの世界と、未来への可能性を広げます。是非、
城山校にお越しください。一緒に明るい未来を手に入れましょう！